

雪割草（ミスミソウ）

サクラソウ科の多年草。本州中部以北の高山に自生し、高さ約 10 センチ。葉は根際から出て、へら形でしわがあり、裏面に淡黄色の粉状のものがついている。初夏、淡紅紫色の小花をつけ、名は雪解けとともに花が咲くことによる。

節分草

キンポウゲ科セツブンソウ属の多年草。関東地方以西に分布し、石灰岩地域に多く見られる。高さ 10cm ほど。花期は 2-3 月で直径 2cm の白い花を咲かせる。和名は、早春に芽を出し節分の頃に花を咲かせることからついた。

菊咲いちげ

3～5 月に咲く 花径 3cm 大 花色は白や薄青 株分けで繁殖させる
草丈が低い 花びらに見える萼片は野生種では 10～13 枚
花びらはない 落葉樹の下で夏涼しいところに植える
耐寒性は強い 草丈 10cm まで

あずまいちげ

キクザキイチゲと良く似ているが、アズマイチゲは白色のみ
両種を見分けるポイントは、アズマイチゲの葉・・・葉の先が丸く細かく切れ込まず、やや下に垂れている。また、花の下にある茎に毛があればキクザキイチゲ、なければアズマイチゲ。

雪割一花（ユキワリイチゲ）

キンポウゲ科の多年草。地下茎はやや太く、長く横にはう。茎は高さ 15～30cm、茎葉は無柄。2～4 月、茎の先に花を 1 個開く。花弁はなく、萼片(がくへん)は 12～15 枚あって淡紫色。本州西部から九州に分布する。名は、まだ雪のある早春に花を開くことによる。

(net より参照)